

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 ジオマテック株式会社
 コード番号 6907 URL <http://www.geomatec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松崎 建太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 中村 和正

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 045-222-5720

平成22年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	4,523	45.6	708	—	715	—	717	—
22年3月期第2四半期	3,107	△42.7	△254	—	△234	—	△238	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	85.64	—
22年3月期第2四半期	△28.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	19,793	15,992	80.8	1,907.83
22年3月期	19,846	15,533	78.3	1,853.08

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 15,992百万円 22年3月期 15,533百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	7.50	—	15.00	22.50
23年3月期	—	15.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,400	19.2	1,300	241.4	1,350	228.7	1,340	231.0	159.85

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期2Q 9,152,400株 22年3月期 9,152,400株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 769,732株 22年3月期 769,663株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期2Q 8,382,728株 22年3月期2Q 8,382,760株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

	頁
1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア諸国の経済成長を背景とした輸出拡大に支えられ、総じて回復基調で推移したものの、期後半にかけては、米国経済の景気減速懸念に加え、一部欧州での金融・財政問題による信用不安の高まりから、株安・円高が一段と進行し、先行きの見通しは依然として不透明感が払拭できない状況で推移いたしました。

このような経済環境の中、当社グループ製品の主力市場である中小型フラットパネルディスプレイ(FPD)市場や光学機器市場につきましては、高水準な需要が継続するなど、一般的に堅調に推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの主力製品であるFPD用基板につきましては、中小型液晶(LCD)パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜は、カーナビゲーションやスマートフォン・スレートPCなどのモバイル機器向けに需要は安定的に推移いたしました。また、光学機器用部品につきましてもデータ対応型液晶プロジェクター向けに需要は安定的に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、45億23百万円(前年同四半期比45.6%増)となりました。損益につきましては、売上高の増加に加え、継続的に実施している生産性向上策、経費削減効果により、経常利益は7億15百万円(前年同四半期は2億34百万円の経常損失)、四半期純利益は7億17百万円(前年同四半期は2億38百万円の四半期純損失)となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。

(FPD用基板)

FPD用基板につきましては、カーナビゲーション向けタッチパネル用基板は、自動車生産台数の回復を受け需要は堅調に推移いたしました。また、モバイル機器向けタッチパネル用基板につきましては、スマートフォンの販売伸長により需要は堅調に推移いたしました。

LCDパネル基板につきましては、スマートフォンやスレートPCなどのモバイル機器の販売伸長により帯電防止用膜の需要は堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は33億57百万円(前年同四半期比64.0%増)となりました。

(光学機器用部品)

光学機器用部品につきましては、学校等公共機関向けデータ対応型液晶プロジェクター用光学機器部品を中心に数量は好調に推移いたしましたが、販売単価は下落しました。

この結果、売上高は7億53百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。

(その他)

その他につきましては、太陽電池向け電極膜や装飾用加飾膜などとともに、その他薄膜製品の販売活動に取り組みました。

この結果、売上高は4億13百万円(前年同四半期比36.9%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の財政状態を前連結会計年度末と比較すると、総資産が52百万円減少し、純資産が4億58百万円増加したことから自己資本比率は80.8%となりました。

増減の主なものは、流動資産では受取手形及び売掛金が1億82百万円、有価証券が2億円それぞれ増加し、固定資産では有形固定資産が1億16百万円減少しました。流動負債では支払手形及び買掛金が80百万円減少し、固定負債では長期借入金が2億86百万円減少しました。純資産では利益剰余金が5億92百万円増加し、評価・換算差額等が1億33百万円減少しました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1億25百万円減少し、74億77百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は8億67百万円(前年同四半期比915.6%増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損益が7億3百万円の黒字となったことや減価償却費3億23百万円の資金増加要因等があったことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は4億39百万円(前年同四半期比25.6%増)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3億59百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は5億34百万円(前年同四半期比3.1%増)となりました。これは、主に長期借

入金の返済額3億58百万円及び配当金の支払額1億25百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループにおきましては、カーナビゲーションやスマートフォン・スレートPCなどのモバイル機器向けのタッチパネル用基板やLCD用基板などが、引き続き堅調に推移していることや、継続的に実施している生産性向上策、経費削減効果により、第2四半期累計期間の連結業績は想定を上回りました。なお、第3四半期以降につきましては、急速な円高や世界経済の減速、国内の政策効果の息切れが重なるなど市場に不透明感はあるものの、需要は安定的に推移することが予想されております。

このような状況を踏まえ、平成23年3月期通期連結業績予想について下記のとおり見直しを行いました。

平成23年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成22年8月10日)	9,400	1,100	1,200	1,200	143.15
今回修正予想(B)	9,400	1,300	1,350	1,340	159.85
増減額(B-A)	0	200	150	140	16.70
増減率(%)	0.0	18.2	12.5	11.7	11.7
(ご参考) 前期通期実績 (平成22年3月期)	7,888	380	410	404	48.29

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は76千円減少し、税金等調整前四半期純利益は18,651千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は18,923千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,825,037	7,050,855
受取手形及び売掛金	3,087,181	2,904,623
有価証券	752,671	552,645
商品及び製品	142,666	161,328
仕掛品	145,212	159,739
原材料及び貯蔵品	585,627	572,462
その他	122,149	109,922
貸倒引当金	△2,138	△2,073
流動資産合計	11,658,408	11,509,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,027,098	2,100,315
機械装置及び運搬具(純額)	1,697,785	1,855,703
土地	2,500,162	2,500,162
その他(純額)	494,091	379,036
有形固定資産合計	6,719,137	6,835,218
無形固定資産	43,198	45,808
投資その他の資産		
投資有価証券	630,576	712,385
その他	744,703	746,719
貸倒引当金	△2,137	△2,761
投資その他の資産合計	1,373,141	1,456,344
固定資産合計	8,135,477	8,337,371
資産合計	19,793,886	19,846,874

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	634,195	714,481
短期借入金	50,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	632,308	704,608
未払法人税等	24,112	28,748
引当金	195,688	178,475
その他	472,352	538,724
流動負債合計	2,008,656	2,265,037
固定負債		
長期借入金	1,279,933	1,566,437
退職給付引当金	237,911	225,788
役員退職慰労引当金	252,095	252,095
その他	22,623	3,675
固定負債合計	1,792,562	2,047,995
負債合計	3,801,219	4,313,033
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金	8,297,350	8,297,350
利益剰余金	4,659,885	4,067,749
自己株式	△811,124	△811,059
株主資本合計	16,189,960	15,597,890
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,125	59,465
為替換算調整勘定	△175,168	△123,515
評価・換算差額等合計	△197,294	△64,049
純資産合計	15,992,666	15,533,840
負債純資産合計	19,793,886	19,846,874

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	3,107,473	4,523,868
売上原価	2,556,934	2,969,543
売上総利益	550,538	1,554,325
販売費及び一般管理費	805,363	845,360
営業利益又は営業損失(△)	△254,824	708,964
営業外収益		
受取利息	17,993	15,418
受取配当金	6,657	6,648
不動産賃貸料	17,782	17,330
その他	11,669	14,761
営業外収益合計	54,103	54,158
営業外費用		
支払利息	17,397	15,230
為替差損	4,848	19,209
不動産賃貸費用	8,058	8,084
その他	3,723	4,736
営業外費用合計	34,027	47,260
経常利益又は経常損失(△)	△234,749	715,862
特別利益		
貸倒引当金戻入額	655	558
固定資産売却益	949	6,226
特別利益合計	1,605	6,785
特別損失		
投資有価証券評価損	1,815	576
固定資産処分損	498	323
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	18,574
特別損失合計	2,313	19,474
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△235,457	703,173
法人税、住民税及び事業税	5,555	5,555
法人税等調整額	△2,427	△20,258
法人税等合計	3,127	△14,703
少数株主損益調整前四半期純利益	—	717,876
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△238,584	717,876

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△235,457	703,173
減価償却費	370,376	323,932
固定資産売却損益(△は益)	△949	△6,226
固定資産処分損益(△は益)	498	323
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	18,574
投資有価証券評価損益(△は益)	1,815	576
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△655	△558
賞与引当金の増減額(△は減少)	26,190	22,213
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△5,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,131	12,123
受取利息及び受取配当金	△24,650	△22,067
支払利息	17,397	15,230
為替差損益(△は益)	△14,996	17,487
売上債権の増減額(△は増加)	△253,320	△194,234
たな卸資産の増減額(△は増加)	△17,026	14,625
仕入債務の増減額(△は減少)	198,428	△76,524
その他	21,812	42,023
小計	83,330	865,671
利息及び配当金の受取額	24,907	22,210
利息の支払額	△16,480	△14,815
法人税等の支払額	△11,110	△11,110
法人税等の還付額	4,772	5,588
営業活動によるキャッシュ・フロー	85,419	867,545
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△400	△400
定期預金の払戻による収入	400	400
有価証券の取得による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△153,018	△359,269
有形固定資産の売却による収入	2,305	21,000
投資有価証券の取得による支出	△202,581	△4,243
投資有価証券の償還による収入	3,300	3,885
貸付けによる支出	△9,380	△12,027
貸付金の回収による収入	9,536	11,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△349,838	△439,522
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△20,000	△50,000
長期借入金の返済による支出	△372,834	△358,804
自己株式の取得による支出	—	△65
配当金の支払額	△125,741	△125,741
財務活動によるキャッシュ・フロー	△518,575	△534,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,625	△19,203
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△779,370	△125,790
現金及び現金同等物の期首残高	7,965,213	7,603,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,185,843	7,477,309

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。